

1 審議会名	令和5年度(第8期)第1回上田市上下水道審議会
2 日時	令和5年5月26日(金) 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	真田地域自治センター3階 講堂
4 出席者	荒川委員、上野委員、内川委員、内堀委員、大口委員、金井委員、久保田委員、 小林委員、竹内委員、塚原委員、橋詰委員、藤原委員、布施委員、堀内委員、松本委員、 宮尾委員、渡辺委員
5 市側出席者	堀内上下水道局長、緑川経営管理課長、堀内サービス課長、関上水道課長、 小井土上水道担当政策幹、井出下水道課長、山越浄水管理センター所長、 杉浦丸子・武石上下水道課長 (以下経営管理課)百瀬経理担当係長、堀内経理担当係長、下林課長補佐兼庶務係長、 庶務係池内主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和5年6月5日

協 議 事 項 等

1 開会
2 人事通知書交付 <ul style="list-style-type: none">・ あらかじめ各委員の席に配布
3 上下水道局長あいさつ
4 審議会委員自己紹介
5 上下水道局出席者自己紹介
6 正副会長選出 <ul style="list-style-type: none">・ 委員から、事務局に一任したらどうかと発言・ 事務局から、会長に渡辺委員を、副会長に内川委員とする案を提起・ 委員一同承認
7 正副会長あいさつ
8 議事 <ul style="list-style-type: none">(1) 上下水道審議会について<ul style="list-style-type: none">○事務局より資料1-1、1-2に基づき上下水道審議会について説明・ 委員からの意見・質問なし(2) 水道事業の概要について<ul style="list-style-type: none">○事務局より資料2-1、2-2に基づき水道事業の概要について説明・ 委員からの意見・質問なし(3) 下水道事業の概要について<ul style="list-style-type: none">○事務局より資料3、3-1、3-2、3-3に基づき下水道事業の概要について説明・ 委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 資料 3-1 について、水洗化率等の経営に関わる指標を示してもらいたい。

資料 3-3 について、し尿前処理下水道投入施設を整備することによって、市にどのようなメリットがあるのか。どの程度環境への影響があるのか。

し尿前処理を行うに当たり、希釈にどの水を使うか、何倍の希釈か、希釈が必要なのかを教えてください。

(事務局) 水洗化率等について、今後資料に記載する。

現在清浄園では、し尿前処理量が減少しており、施設を更新するに当たり、新たに建設するより既存の施設と統合した方が費用等のメリットが大きい。維持管理費は検討しており、使用者に負担がかからないように進めている。

希釈は、処理場の処理水を用いて 20~22 倍にする。濃度の関係上、希釈が必要となっている。

(委員) 今後資料を出す際に、その点注意してもらいたい。

(4) 上下水道事業の広域化について

○事務局より資料 4-1、4-2 に基づき上下水道事業の広域化について説明

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委員) 広域化のメリット・デメリットを具体的にしてほしい。年々増加する事業費についても、資料や説明で分かるようにしてほしい。

(事務局) デメリットは、現在上下水道局として水道事業と下水道事業を行っているが、上下が分離することで業務が非効率化してしまうことが一つ挙げられる。今後の説明の中でも示していきたい。事業費について、示された財政シミュレーションを踏まえて、他自治体の構成団体と今後協議していきたいと考えている。

(委員) 広域化の場合と単独の場合とで、何が具体的に違うのかを明確に説明してほしい。単独ではできないことが、広域化によってどんなことができるようになるのか。それが分かるような資料作り、説明をしてほしい。

(委員) 説明の中で専門用語が多く、分かりづらい。審議会委員が他の人に説明できるような、分かりやすい説明をお願いしたい。

(事務局) 昨年度は地域協議会で広域化について説明した。上田地域協議会からは市民説明を十分するようにと意見書をいただいた。今後は 8 月頃に、9 つの公民館で市民説明会の開催を予定している。説明会を開催しても参加人数が少ないケースがあるため、他の自治体を参考に住民アンケートの実施も検討している。今日、審議会委員の方には広域化の全てを説明するのではなく、広域化検討の一部である財政シミュレーションの結果を説明した。市民説明会でも審議会でも、資料作りを含めて丁寧な説明を尽くしていきたい。将来に課題を先送りにしないためにも、慎重な審議をお願いしたい。

(委員) 今後は具体的で分かりやすい資料作り、説明をお願いしたい。

(委員) 資料が何を訴えたいのか分からない。資料では、広域化による上田市の水道料金値上げの抑制効果が小さいことが記載されているため、広域化の意味がないと思ってしまう。明確なメリットを示さないと市民の理解は得られない。

(事務局) 水道料金値上げの抑制効果は小さいが、人材確保という点でメリットがあると考えている。職員や民間企業で、水道を専門にした人材確保が課題となっており、上田市だけでは厳しい状況にある。また、令和 3 年 10 月に料金改定したが、最近の物価高騰により維持管理費が高くなってしまっている。料金改定時の見込みと比べてどの程度高くなってしまったのか等、具体的に示して説明していきたい。

9 その他

○事務局より次回審議会の開催は 7 月を予定していると説明

(委員) 職員の自己紹介の際はフルネームをお願いしたい。

10 閉会